

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岩見沢市立幌向小学校			代表者名	國行 宏昭
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	研修部	連絡先電話番号	0126-26-2100
担当者役職	教諭	担当者氏名	佐藤 麻里子	連絡先E-mail	
住所	069-0372 北海道岩見沢市幌向南2条1-180				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	探究的な学びを深める授業におけるICTの活用研修		
概要	探究的な学びを深める授業におけるICTの活用について支援していただきたい				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 生成AI活用 教育情報化／情報教育				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年6月11日	支援・助言(実地)	11時30分	17時00分	
			活動時間（分）	330	
2-2. 派遣場所	会場名	岩見沢市立上幌向中学校		最寄駅	上幌向駅
	所在地	岩見沢市上幌向北1条4-742		最寄駅からの交通手段	自家用車で送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	小学校と中学校が抱える授業改善の課題に対して、事例を含めて分かりやすく指導頂いた。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	30人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	30			

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">探究的な学びの授業づくりにおける教員間の実践・意識の差があり、授業実践にばらつきがある。主体的に学ぶためのスキルが十分に育っておらず探究活動の深まりに課題がある。教室内外における掲示物、資料の共有、探究のプロセスを支援する視覚的・物理的な環境の整備不足セカンドGIGAに対応した情報活用能力の育成が不十分である。全校で一貫した情報モラル教育のさらなる充実
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none">探究的な学びの授業の必要性を全教職員が理解し、協力し合いながら授業づくりを行い、学校全体として授業実践を積み重ねていける。児童・生徒が主体的に学習を進め、その中でタブレット端末を有効に活用した授業ができるようになるスキルを育成する。また、セカンドGIGAに対応した情報活用能力を身に付ける。児童・生徒も教師もICT活用能力が向上することで、子どもたちを支える保護者、地域住民にも情報活用能力が汎用され、より適正に情報を扱うことで、幸せな生活を送ることができることを成果とする。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 「なぜ、今タブレットを使った授業をするのか」、「予測不可能な社会に生きる子どもに必要な力」についての理論を講演して頂いた。また、タブレット端末を有効に活用している全国の小中学校の紹介をいただいた。その中で、個別最適な学びの中の「自ら学習を調整する」を授業に取り入れる際の注意事項についても指導頂いた。 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善は、講演を聴いてすぐに効果は現れませんが、それぞれの学校において授業改善の必要性、どのような授業を目指すのか教員間で話題になった。授業研究では指導頂いたことを中心に授業のあり方を見直すことができた。また、小学校と中学校の教員が同じ内容の講演を聴いたので、小学校と中学校が連携し学びの継続性が実現できるようになると考える。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今後もオンライン等で助言頂き、11月の公開研究会で今回指導を受けた授業改善の成果を報告したい。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校教員に授業改善の理論を説明頂いたが、授業改善の成果はすぐに現れるものではないと考える。そのため、今回示された授業改善の視点を元に小中学校の研修係中心に小中学校が連携した授業改善(タブレット端末の活用)を進めていくため、持ち越しとなった。 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回の講演では、授業改善について話を頂いたため、今後の授業改善にどのように生かされているのかを分析したいと考えている。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	児童・生徒が小学校で身につけた主体的に学ぶ態度とタブレット端末を活用するスキルを中学校でもつなげられることが最終の目標である。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。



6月11日(水) 上幌向中学校と第二小学校の教員、空知教育局指導主事、岩